

チェンジ!36

世代交代

兵庫5区から日本を変える

なぜ遠藤良太さんは政治に興味を持ったのですか？

私が幼少の頃、父が会社を立ち上げ、しばらくすると選挙にも出馬しました。結果は落選でしたが、選挙期間中、私は幼稚園の延長保育に預けられ、普段から延長保育に慣れていたこともあり、嬉しかったように記憶しています。

また、父が代議士の秘書をしていた事もあり、当時の様々な話を聞いているうちに小さいながらも政治を身近に感じるようになりました。そのような背景もあり、政治家を志すきっかけになったように思います。

遠藤良太さんにとって理想の国のカタチとは？

●**すべての人が楽しく幸せに過ごせる国**
●**日本だけでなく世界中も**
私は障がいを持つ母に育てられました。差別や偏見を感じることもなく幸せに楽



しく今までの人生を過ごしてきました。それは周りの人のサポートや理解があったからだと感じております。

この経験をもとに障がいの有無や様々な立場やパーソナリティを持つすべての人が困難を共に乗り越え楽しく幸せに過ごせる国を目指します。

最終的には日本だけでなく世界中の人たちが同じように楽しく幸せに過ごせるような世界づくりに取り組みたいです。

具体的にはどんな課題に取り組みますか？

●子どもたちへの虐待の防止

昨今、子どもの虐待がニュースで多く取り上げられております。私も三児の父親として非常に心を痛めております。

子どもの虐待は家族の問題ではなく、サポートする制度、経済的な問題など政治の課題だと考えております。ひとり親世帯の経済的補助などの様々な

サポート制度を充実していきます。

結果として一番の犠牲者は子どもであることは間違いありません。虐待をした親が加害者と思われがちですがこの方々もある種、被害者なのではないでしょうか。

●高齢者の孤立

もう一つ家族の大きな課題がございます。それは高齢者の孤立です。地方に行くと、高齢者の方がおひとりさましく過ごしているのを目のあたりにします。そのために「ふるさと」を盛り上げる必要性を感じております。

「ふるさと」を盛り上げるにはどういったことでしょうか？

●ワークステーションの設立

民間企業のワークステーションを税金によって作ります。コロナ禍の影響もありテレワークが進んでおります。ただ家庭内で仕事をすることに限界を感じていらっしやる声を多く聞きます。その課

題を解決するような無料サーバーの設置やインフラの整備ができています。

ワークステーションを作り、官民の協力で兵庫5区の働き世代のフォロー体制を充実していきます。その働き世代のサポートを高齢者世代の知恵、力を借りて子ども達の教育も充実させていきます。

さらに「ふるさと」を盛り上げる方法はございますか？

●大企業の本社機能の移転

大企業の本社を都会から地方に持ってくることで、税制の特典を付けていきたいと思っております。実際、アメリカでは大手企業が法人税の低い地方都市へ本社機能を移転しています。

企業側の負担を軽減するために廃校となつた小中学校の校舎を貸し出すなどのハード面のフォロー体制も充実させていきます。

政治家として成し遂げたいことは何ですか？

人生一度きり、常に挑戦を続けたいと思っております。私は、今までの延長ではなく、常に新しい事をしたいと考えてきました。政治の世界は初めてですが、企業家とはまた別の視点で物事を考え、視野を広く、過去の経験を活かしながら、取組んでいきたいです。今の政治を一経営者の立場から見ると、不信任が強いと感じています。私は、会社経営を通じて、より一般市民の目線から、日本を変えていきたいと考えます。



兵庫5区

背景画像はイメージです